



花粉の少ない森づくりを応援しよう！

づくり支援倶楽部会報誌

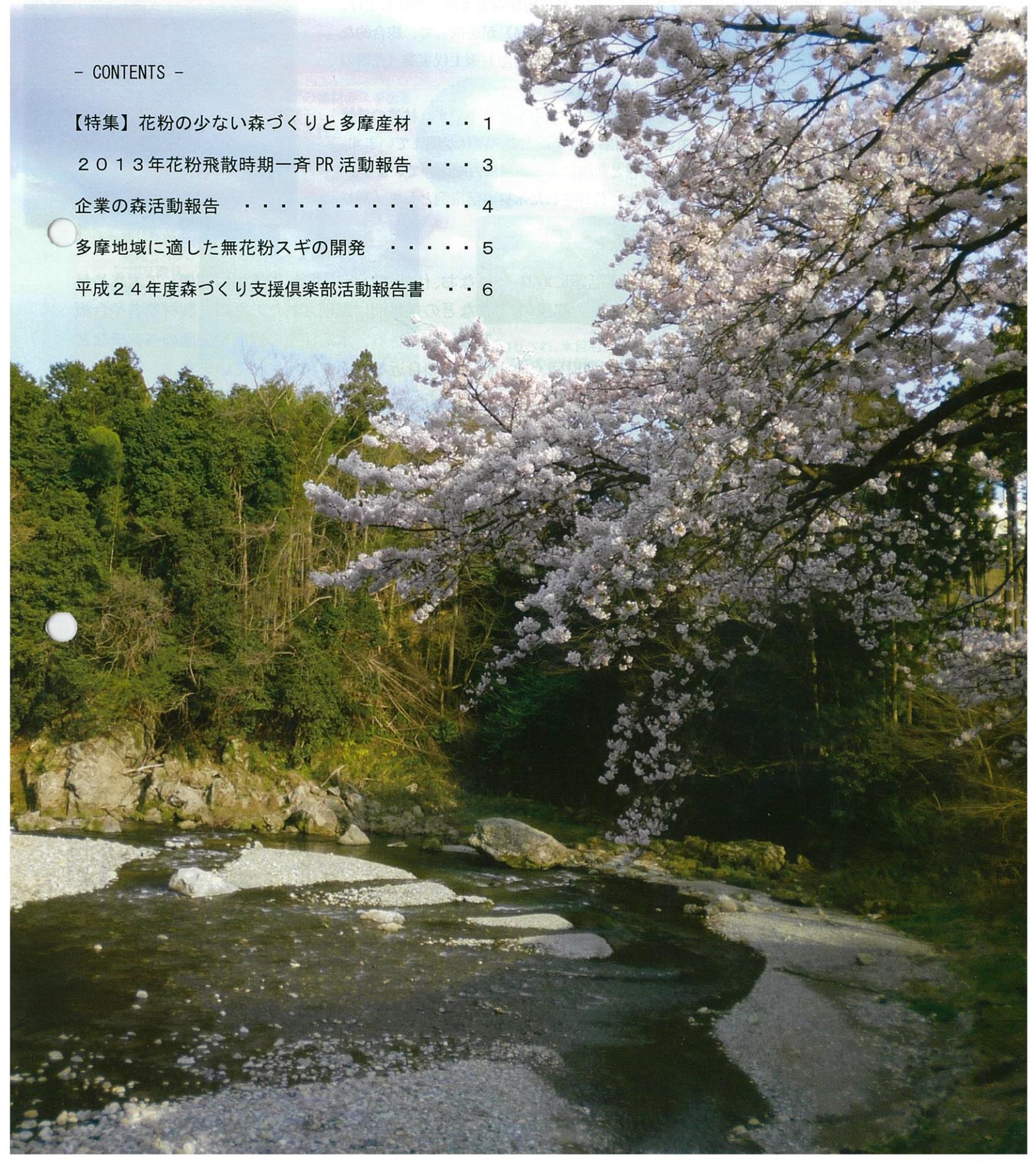
25年度春号

第18号

発行日：平成25年5月17日

- CONTENTS -

- 【特集】花粉の少ない森づくりと多摩産材 . . . 1
- 2013年花粉飛散時期一斉PR活動報告 . . . 3
- 企業の森活動報告 4
- 多摩地域に適した無花粉スギの開発 5
- 平成24年度森づくり支援倶楽部活動報告書 . . . 6



花粉の少ない森づくりと多摩産材

多摩産材活用例 ～ 割り箸 ～

今春はスギ花粉の飛散量が例年以上に多く、花粉症で大変な思いをされた方が多くいらっしゃったのではないのでしょうか。

東京都では、全国に先駆け平成17年度に「東京都花粉症対策本部」を立ち上げ、森林整備、医療、環境等それぞれ担当する部署（庁内14局）が連携して、総合的な花粉症対策に取り組んでいます。その一環として“花粉発生源対策主伐事業（花粉の少ない森づくり）”（以下、「主伐事業」）があります。

多摩地域の森林の約6割が人工林でそのほとんどがスギ・ヒノキです。林業の低迷化に伴い、整備が滞り花粉を多く発生させる樹齢30年以上のスギ林が増えています。主伐事業では、このような森林を対象に伐採と新植による循環に力を注いでいます。

ここでは、これまでの主伐事業の取組みと、伐採された木材の活用例として「割り箸」をご紹介します。



春先になるとニュースや天気予報で必ず話題に取り上げられるスギ花粉症。今や国民病と言われ、都民の3.5人に1人が発症しています。

そこで東京都と（公財）東京都農林水産振興財団（以下、財団）では、平成18年から27年までの10年間の計画で、都内のスギを伐採する主伐事業を実施しています。

この取組みは、東京の人工林約3万haのうち、将来も林業を継続する森林を対象に、10年間で約775haのスギ林を伐採し、伐採後は花粉量が通常のスギの100分の1以下である“花粉の少ないスギ（少花粉スギ）”に植え替え、花粉削減を図ることを目的としています。

事業の流れを簡単に説明しますと、森林所有者からの申し込みを受けて、財団が花粉を多く発生する樹齢35年以上のスギの立木を中心に調査を行い、評価額を決定します。

そして、森林所有者のご承諾をいただき、財団が立木を買取り、伐採、木材販売を行います。伐採後は20年あるいは30年の保育管理契約を森林所有者と結び、財団が少花粉スギの植栽と、下刈り、枝打ち、間伐、見回り管理を実施します。

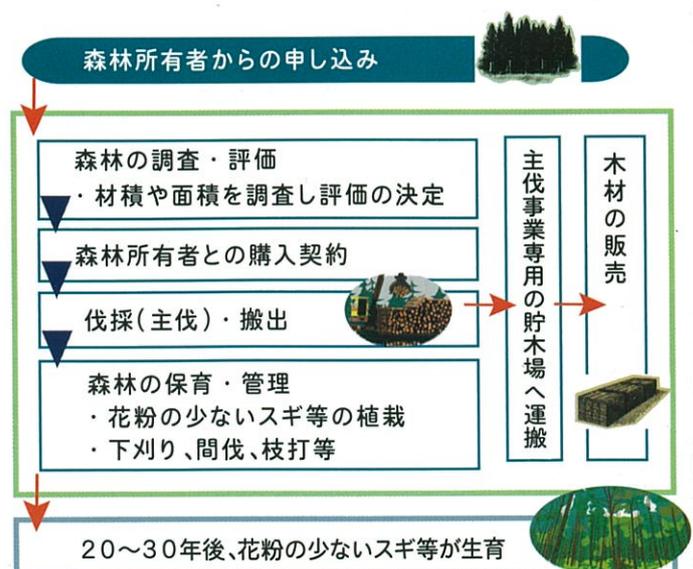
平成24年度は、森林所有者から約80ha相当の面積に植林されたスギ等を購入しました。これまでの累積で470haの所有者と契約し、そのうちの約238haは既に伐採・搬出作業が行われています。

また、伐採した跡地約64haにおいて、花粉の少ないスギ等の苗木約20万本を植栽しました。

なお、伐採されたスギは、貯木場に運搬して太さや長さなどの規格別に選別されたのちに、製材業者や合板業者に販売され、木造住宅の建設や公園のベンチなど皆さんの身近な場所で利用されています。

このように主伐事業は、スギ花粉の削減だけが目的ではありません。伐採跡地を再造林し、また育てることによって、いびつな林齢構成の是正など森林の循環を図ること、そして、多摩産材を安定的に供給し、原木だけではなく合板やチップなど新たな木材需要を掘り起こすこと。この2つを軸に木材の生産から利用まで、多摩地区の林業と木材産業の再生を図ることも目的としています。

これからも花粉の少ない森づくりと東京の林業の再生に取り組んでいきます。皆様のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。



**多摩産材活用例
多摩産スギ割り箸**



多摩の森林から伐採されたスギ・ヒノキ等の木材が私たちの生活で利用されなければ、森づくりは進みません。今回紹介する活用例は、当事業のPRにて配布した多摩産スギの割り箸です。製造して下さったのは都内の障害者施設です。各施設のご協力のもと、割り箸ができるまでをレポートします。

「山の子の家」割り箸班



社会福祉法人山の子会「山の子の家」

知的障害者の支援施設で、一人ひとりの状況に応じた支援を行っています。割り箸のほか、手工芸などの作業を通し、利用者の生活を充実させるための支援に取り組んでいます。

電話 042-597-7300 URL <http://yamanokokai.com/>



↑この施設では、製造過程ででた木片やおがくずはチップ工場に渡し、木材を無駄なく利用しています

出来上がった割り箸を次の施設へ

就労日の出舎 木工作业



社会福祉法人泉会「日の出舎」

身体障害者、知的障害者の支援施設で、利用者の自立した豊かな生活の環境づくりに取り組んでいます。就労移行に向けた木作業の職場体験などを行っています。

電話 042-597-1451 URL <http://hinodesha.org/>



チャリティーランナー等へ配布したブックマークや支援倶楽部の特典などの製造もお願いしています

今回ご紹介した山の子の家では多摩産材の割り箸を、日の出舎ではキーホルダーなどの木工品を製造・販売しています。東京の森づくりと、障害者の方の支援にもなる木工品。ぜひ皆さんも生活の中に、取り入れてはいかがでしょうか。

2013 花粉飛散時期一斉 PR 活動報告

東京都と（公財）東京都農林水産振興財団では、「花粉の少ない森づくり」をより広く都民、企業の方々に知ってもらうため、スギ花粉飛散時期に合わせて PR イベントを行いました。

花粉の少ない森づくり PR @ 東京アグリパーク (来場者数：約100名)

2月5日～3月2日 パネル・多摩産材製品の展示、事業紹介の映像放映など
3月2日 多摩産材キーホルダー名入れ体験、東京の木製品の展示即売会

花粉の飛散時期に合わせ、約1ヶ月近く企業の森の説明パネル等の展示を行いました。新宿駅に近いことから、通りがかりに興味を持ち、立ち寄りの方が多くいらっしゃいました。展示してある本物の多摩の木に触れ、森づくりへの理解を深めていただけたようです。即売会では、漆器購入を目的に来場された方や、かわいらしいキーホルダーも人気で賑わいました。



自分だけのキーホルダーが出来てうれしかった



1日も早い無花粉の苗の開発に頑張ってください

アンケートより

花粉の少ない森づくり PR @ 道の駅八王子滝山 (来場者数：約60名)

3月5日～9日 パネル・多摩産材ブースの展示
3月9日 東京の木のおはし作り、多摩産材キーホルダー名入れ体験

都内唯一の“道の駅”とあって、地元や観光客で賑わう施設の一部をお借りしてイベントを開催しました。お買い物ついでに立ち寄られ、小さなお子さんから年配の方まで幅広い層の方々が、おはし作りや焼き付けペンを使用した工作を楽しまれました。



東京マラソン・東京マラソン EXPO2013

東京マラソン EXPO 2月21日～23日 パネル展示、PR グッズ配布
東京マラソン 2月24日 フィニッシュ会場にてパネル展示

東京マラソンのチャリティー事業の協力団体としてイベントに参加。パネルや映像などを通じて事業説明を行いました。また PR グッズとして、多摩産材の割り箸（詳しくは P2 をご覧ください）を配布しました。

当事業に募金したチャリティーランナーの方々もお越しいただき、感謝の気持ちを伝えると共に、より深く事業の説明をすることができました。募金者と直接交流するという大変貴重な機会となりました。



【学校での箸づくり】

環境学習の一環として、箸づくりを通じて、森林・林業・多摩産材について学習する授業を行いました。

- 日野市立夢が丘小学校 (1月24日) 児童：4年生 57名
- 町田市立三輪小学校 (2月8日) 児童：4年生 88名
- 新宿区立東戸山小学校 (2月15日) 児童：3年生 32名
- 昭島市立田中小学校 (3月7日) 児童：5年生 57名

小刀と紙やすりを使用し、生徒達は皆一生懸命作業していました。木に直接触れることで学び得たことも多かったのではないのでしょうか。また講師による森林・林業の話を通じ東京の木や森を知ってもらうよい機会となりました。



【その他の PR 活動】

「まちの先生見本市」2月2日

体験型ワークショップのひとつとして、多摩産材の木工教室を開催しました。

主催：NPO 法人新宿環境活動ネット・新宿区立環境学習情報センター

「都営地下鉄でのポスター掲示」2月21日～27日

新宿駅、新宿三丁目駅、神保町駅、六本木駅、日比谷駅、三田駅、汐留駅、新橋駅、東銀座駅、日本橋駅 計10駅

「東京都民銀行さまのご協力による PR ブースの展示」

2月27日～3月12日 大森支店、西大久保支店
3月15日～26日 小平支店、多摩支店

この度の PR 活動において、ご協力いただいた関係者の方々、そしてご来場された皆さま誠にありがとうございました。

企業の森活動報告

企業の森とは、花粉の少ない森づくりに賛同した企業・団体が、森林整備に係る費用の相当額の寄附や社員の皆さまによる森林ボランティアの参加などを通じて行う森づくりです。現在、19の企業・団体が参加しています。ここでは、4月に行われた森づくりイベントをご報告いたします。

「企業の森・清和綜合建物（御岳）」 清和綜合建物株式会社

4月6日「開始式・植樹体験」

参加人数：74名 作業面積：0.2ha 指導員：(特) 森づくりフォーラム
樹種：花粉の少ないスギ、広葉樹（イタヤカエデ、イロハモミジ等）

事業活動を通じて環境への配慮と環境負荷の低減に努める清和綜合建物グループは、昨年の10月に創立55周年を記念し、企業の森に参加されました。今回は、協定締結後、初となるイベントで、看板の除幕や記念植樹などのセレモニーと植樹体験を実施しました。

当日は雨の予報が出されていたため、予定より一部時間を短縮して行われました。慌ただしい中、また70名を超える大人数にも関わらず、参加者の方々によるご協力で滞りなくイベントを終えることができました。時折強い風によって桜の花びらが舞い散り、今回のイベントをお祝いするかのような花吹雪があり、記念すべき1日となったようです。



▲会長、社長、当財団理事長による除幕



「企業の森・NTT コムウェア（青梅）」 NTT コムウェア株式会社

4月13日「歩道整備」

参加人数：17名 作業面積：0.78ha

今年で5年目を迎える企業の森対象地にて、傷んできた林内歩道の整備を実施。当日は、社内において結成された環境サポーターズの方々とそのご家族、そして森林所有者さんも加わって行われました。森づくりへの意識が高い参加者が多く、作業着の他、地下足袋や道具も持参されるなど、本格的な作業姿で取り組んでいました。

歩道を唐鍬で慣らしたり、丸太設置では、運搬・杭打ち・土慣らしと役割分担しながらスムーズに作業が進みました。

終了後には、修復した歩道で昼食をとりながら、森づくりの話して盛り上がっていました。5年前に植えた苗木が背丈ほどになり、また今回の作業できれいになった歩道を前に一層愛着を感じていただけたようです。



森づくりミニ講座

安全な作業のために

新緑が美しい初夏の森林。太陽の日を浴びてすくすくと苗木が育っていきます。一方で、整備された造林地は、苗木だけでなく様々な草や木にとっても好条件の場所。勢いよく育った草や灌木によって、日差しが遮られ土の養分を奪われるなど苗木の生長を阻害する要因となります。そのために必要な作業が「下刈り」です。これからが下刈り作業のシーズン。暑い日差しの中行う作業です。服装などの注意事項を守り、体調に充分注意して森づくりを楽しみましょう！

「下刈り」を安全に行うために

・日射病や熱射病に注意！



水分はこまめに補給するようにしましょう。水筒やペットボトルホルダーなどにより、常に携帯するようにしましょう。無理せず、疲れたら休憩をとりましょう。

・半そで、短パンでの作業は危険！

虫さされや草などによる切り傷を防ぐため、夏場でも長袖・長ズボン。動きやすい服、はきなれた靴を身につけましょう。

・山の斜面で作業するときは

周りの人と十分な距離をとり、上下重なって作業しないように注意しましょう。斜面は姿勢が不安定になるため、下りながらの作業や足元より低いところに向けて鎌を振らないようにしましょう。

「多摩地域に適した無花粉スギの開発」

東京都農林総合研究センターの研究成果

東京都と（公財）東京都農林水産振興財団が進めている花粉の少ない森づくりでは、多摩地域のスギ林を伐採して、その跡地に「花粉の少ないスギ（少花粉スギ）」等を植えています。

多摩地域で植栽している少花粉スギの花粉発生量は普通のスギの100分の1以下です。この少花粉スギ以上に、花粉発生源対策の効果が期待されるのが「無花粉スギ」です。無花粉スギは、現在、全国で10本余り見つかっています。ただ、残念なことに材質の良い優良なスギ（精英樹）の性質をもち、多摩地域に植栽できる「東京都の無花粉スギ」はまだありません。

そこで、多摩地域に適した無花粉スギの開発を目指して、他県の無花粉スギと東京都精英樹の交配育種を平成20年度から開始しました。

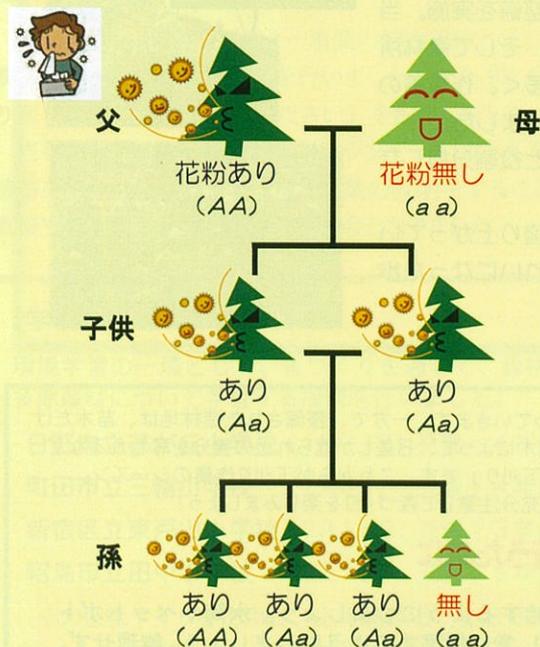
ここでちょっと難しいですが、遺伝のお話をしましょう。スギも人間と同じように、父親と母親から遺伝子を1個ずつもらいます。普通のスギは花粉のできる遺伝子Aを2つ持っています。無花粉スギは、花粉のできない遺伝子aを2つ持っています。Aとaを1個ずつ持っているスギの場合は、Aのほうが遺伝子の力が強いので、残念ながら花粉のできるスギになります。東京都のスギ(AA)と無花粉スギ(aa)を交配すると、その子供(Aa)は花粉ができますが、さらにこの子供同士を交配すると、理論的には孫たちの4分の1が無花粉スギになるのです。(図参照)

現段階の研究結果としては、交配を繰り返して孫世代の苗を3000株つくりました。そのうち、発芽して1~2年目の若い苗の段階で雄花の中の花粉の有無を調査した結果、約600株の有望な無花粉個体が選抜できました。

今後は多摩地域にある試験林で栽培評価などを行い、多摩地域の環境に適応し、成長や材質の優れた無花粉個体の選抜を進めていきます。

引用：宮下千枝子「平成24年度東京都農林総合研究センター研究成果発表会『多摩地域に適した無花粉スギの開発』」研究発表資料

図 無花粉の遺伝子の伝わり方



無花粉の遺伝子(a)を2つ持つ個体は無花粉スギになる。東京都精英樹(AA)と無花粉スギ(aa)を交配すると、その子供(Aa)は花粉ができるが、孫の世代では理論的に4分の1が無花粉スギ(aa)になる。



▲ たくさんのスギ交配苗
この中から無花粉スギを選び出します

平成24年度森づくり支援倶楽部活動報告書

1. 平成24年度森づくり支援倶楽部収支報告

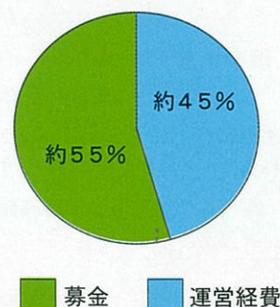
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

収入の部(円)		支出の部(円)	
1	24年度会費収入 817,000	1	24年度運営経費 374,252
	内訳		内訳
	個人会員 417,000		(1) 通信運搬費 66,940
	法人会員 400,000		(2) 印刷製本費 32,170
			(3) 会員への特典購入に係る支出 275,142
		2	花粉の少ない森づくり募金 442,748
			(苗木代として)
合計	817,000	合計	817,000

24年度森づくり支援倶楽部の会費から、花粉の少ないスギの苗木約3,700本分に相当する442,748円を寄付いたしました。

苗木は、今後、花粉対策室が行っている主伐事業の現場に植栽していきます。

18年度～24年度
支援倶楽部の寄付による
苗木の本数 累計 約28,000本



2. 活動報告と予定

(24年度の活動報告)

- 4月 会報誌 vol.14・活動報告書発行
- 7月 会報誌 vol.15発行
- 9月 イベント案内を発送
- 10月 森づくり支援倶楽部主催イベント
「植樹体験 in 東京マラソンの森」
JCN テレメディアのニュース番組「デイリー八王子」
や産経新聞にて報じられました。
- 11月 会報誌 vol.16を発行
- 平成25年
- 2月 会報誌 vol.17を発行
- 3月 入会の案内発送

(メールマガジンについて)

24年度の発信回数 29回

(25年度の活動予定)

- 5月 会報誌 vol.18・活動報告書発行
- 8月 会報誌 vol.19発行
- イベント案内発送
- 10月 森づくり支援倶楽部主催イベント
(植樹体験等を予定)
- 11月 会報誌 vol.20発行
- 平成26年
- 2月 会報誌 vol.21発行
- 3月 入会の案内

(メールマガジンについて)

25年度の発信予定 月2回(第2・第4金曜日)

森づくり支援倶楽部 25年度入会のご案内

森づくり支援倶楽部では、東京の森づくりを応援する25年度の会
員を募集しています。会員特典として、会報誌や多摩産材の木工品
を差し上げています。会費は、運動のPR活動や花粉の少ない森づ
くり募金などに活用されます。

お気軽にご入会いただける

サポート会員	入会金 1,000円
対象：個人	年会費 なし

加入されると・・・

木製会員証、協賛施設割引券、会報誌が届きます。

より森づくりに協力したい&多摩の森林にご興味のある方

正会員 (個人)	年会費 3,000円 (ご家族6名まで登録できます)
賛助会員 (法人)	年会費 50,000円 (1法人)

※年会費の有効期限は年度単位となります。毎年4月1日更新。

加入されると・・・

多摩産材製品(初めの方は会員証)、協賛施設割引券(20枚綴)、
温泉施設半額券、会報誌が届きます。

また、倶楽部主催の森づくりイベントに無料でご参加できます!
サポート会員は有料でご参加できます。

※ご家族の登録について:登録人数分の会員証発行とイベント参加費は無料です。
その他の特典は1名分とさせていただきます。

◆お問合せは、森づくり支援倶楽部事務局(TEL0428-20-8153 下記詳細)まで

ご入会お待ちしております

残りわずか!!
お急ぎください!

新規入会キャンペーン継続中

◆ サポート会員(新規)

新規でご加入された方を
対象に先着20名様まで
多摩産材コースター
をプレゼント



イメージ

◆ 正会員(新規)

新規でご加入された方を
対象に先着20名様まで
多摩産材フォトスタンド
をプレゼント



イメージ

組み込んだままマグネットとして使っても、
外してバラバラにしてマグネット、
コースターとしても使用できます



今年度の正会員(継続)への
特典は、多摩の木でできた
「ハトの形の鍋敷き」と
「マグネット&コースター」



賛助会員のご紹介 ~私たちは、「花粉の少ない森づくり運動」に協力しています~

賛助会員を随時募集しています!(年会費50,000円)
会費は、「花粉の少ない森づくり」に役立てられます!

東京木材問屋協同組合

理事長 吉条 良明

〒136-0082 東京都江東区 新木場 1-18-8 木材会館
URL <http://www.mokuzai-tonya.jp/>
TEL: (03) 5534-3111 FAX: (03) 5534-7711

立山産業株式会社

(本 社)

〒197-0011 東京都福生市福生 973
TEL: 042-553-9111 FAX: 042-553-9152
URL: <http://www.tateyama-net.co.jp>
E-mail: eco@tateyama-net.co.jp

“考えます木材流通を前向きに” 東京材木商協同組合

〒111-0052 東京都台東区柳橋2丁目19番8号
URL <http://www.33.ccn.ne.jp/~zaisho/>
TEL (03) 3862-7081
FAX (03) 3864-9123

「東京の木の紙」のお問い合わせは

4030 株式会社 シオサワ

〒135-0004 東京都江東区森下 1-3-12 (第二営業部)
TEL: 03-3634-4871 FAX: 03-3634-4872
URL <http://www.shiozawa.co.jp>

新東京木材商業協同組合

理事長 長浦慎一

〒171-0044 東京都豊島区千早 1-20-13
URL: <http://www.zaimokuya.or.jp/>
TEL: 03-3959-7811
FAX: 03-3958-3592

~ 木を育てたい。だから木を使おう。~ 社団法人東京都木材団体連合会

会長 吉条 良明

〒136-0082 東京都江東区 新木場 1-18-8
URL: <http://homepage3.nifty.com/tomokuren/>
TEL: (03) 5569-2211 FAX: (03) 5569-2233

多摩産材と暮らそう!
パネ協
日本住宅パネル工業協同組合
Japan Housing & Components Manufacturers Co-Operative
東日本支所
〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-15-7
Tel: 03-3947-7611 Fax: 03-3947-7627
URL: <http://www.panekyo.or.jp>

公益財団法人東京都農林水産振興財団

森づくり支援倶楽部事務局

〒198-0036 東京都青梅市河辺町 6-4-1 青梅合同庁舎 3階

TEL: 0428-20-8153 <http://www.tokyo-aff.or.jp/club/index.html>

E-mail: moriclub@tdfaff.com